

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年2月15日 (2018.2.15)

【公開番号】特開2017-193547(P2017-193547A)

【公開日】平成29年10月26日 (2017.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2017-041

【出願番号】特願2017-92508(P2017-92508)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/25 (2006.01)

A 6 1 K 8/02 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/73

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/25

A 6 1 K 8/02

A 6 1 Q 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月20日 (2017.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結晶セルロースを含む材料からなる錠剤用基材、炭酸水素ナトリウムを含む発泡剤、及び無水ケイ酸を含む研磨剤を含む混合物を錠剤化してなる口腔清浄用発泡性錠剤であって、前記発泡剤は発泡時における体積が 2.6 ミリリットル以上 5.3 ミリリットル以下である発泡剤の重量とした口腔清浄用発泡性錠剤。

【請求項 2】

前記発泡剤は炭酸水素ナトリウム、又はこれに加えて水素化マグネシウム、水素化カルシウム、水素化アルミニウムナトリウム、のいずれか一以上を含み、その総重量は、発泡剤の発泡時における体積が 2.6 ミリリットル以上 5.3 ミリリットル以下の範囲を満たす範囲内で 0.2 グラム以上 0.4 グラム以下である請求項 1 に記載の口腔清浄用発泡性錠剤。

【請求項 3】

前記錠剤用基材は、体積が発泡剤の発泡時の体積の 1 / 1500 以上 2 / 1500 である請求項 1 又は 2 に記載の口腔清浄用発泡性錠剤。

【請求項 4】

前記錠剤用基材は、平均粒径が 50 ミクロン以上 100 ミクロン以下である請求項 1 から 3 のいずれか一に記載の口腔清浄用発泡性錠剤。

【請求項 5】

前記研磨剤は、平均粒径が 10 ミクロン以上 30 ミクロン以下である請求項 1 から 4 のいずれか一に記載の口腔清浄用発泡性錠剤。

【請求項 6】

表面粗度が算術平均粗さで１００ミクロン以上３００ミクロン以下である請求項１から５のいずれかーに記載の口腔清浄用発泡性錠剤。

【請求項７】

剤形が上下面が略凸レンズ形状を有する略円筒形状で、光軸方向相当高さが５ミリメートル以上７ミリメートル以下であり、レンズ径相当長さが１２ミリメートル以上１４ミリメートル以下であり、円筒側面相当高さが３ミリメートル以上４ミリメートル以下である請求項１から６のいずれかーに記載の口腔清浄用発泡性錠剤。

【請求項８】

前記略円筒形状の側面の表面粗度は、前記略凸レンズ形状の上下面の表面粗度よりも低い値である請求項７に記載の口腔清浄用発泡性錠剤。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２５】

以下に、本発明の実施例を説明する。実施例と請求項の相互の関係は以下のとおりである。実施例１は主に請求項１などに関し、実施例２は主に請求項２などに関し、実施例３は主に請求項３などに関し、実施例４は主に請求項４などに関し、実施例５は主に請求項５などに関し、実施例６は主に請求項６などに関し、実施例７は主に請求項７などに関し、実施例８は主に請求項８などに関する。また、実施例９～１１は、本発明に関連する発明に関する。なお、本発明はこれら実施例に何ら限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において、種々なる態様で実施しうる。